

## 新型コロナウイルスについての注意喚起 | 保健管理センター 2020-06-06

以下のいずれかの場合、**帰国者・接触者相談センター**（新型コロナ受診相談窓口）等に御相談ください。

☆ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

☆ 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

（※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD 等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

☆ 上記以外の方で 発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

相談窓口： 各都道府県のお知らせ・電話相談窓口 [https://www.kantei.go.jp/jp/pages/corona\\_news.html](https://www.kantei.go.jp/jp/pages/corona_news.html)

なお、外務省の感染症危険情報では、次のようになっています（6月5日時点、下線付はレベル引上げ）。

・危険レベル3「渡航は止めてください」（渡航中止勧告）：（中南米）ガイアナ、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントビンセント及びグレナディーン諸島、ニカラグア、ハイチ（欧州・中央アジア）ジョージア（中東・アフリカ）アルジェリア、イラク、エスワティニ、カメルーン、セネガル、中央アフリカ、モーリタニア、レバノン（アジア）インド、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、モルディブ（大洋州）オーストラリア、ニュージーランド（北米）カナダ、米国（中南米）アルゼンチン、アンティグア・バーブーダ、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、コロンビア、セントクリストファー・ネイビス、チリ、ドミニカ共和国、ドミニカ国、パナマ、バハマ、バルバドス、ブラジル、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、メキシコ（欧州）アイスランド、アイルランド、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、アンドラ、イタリア、ウクライナ、英国、エストニア、オーストリア、オランダ、カザフスタン、北マケドニア、キプロス、ギリシャ、キルギス、クロアチア、コソボ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、パチカン、ハンガリー、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベラルーシ、ベルギー、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポルトガル、マルタ、モナコ、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、ルーマニア、ロシア（中東）アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イスラエル、イラン、エジプト、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、トルコ、バーレーン（アフリカ）ガーナ、カーボベルデ、ガボン、ギニア、ギニアビサウ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ジブチ、赤道ギニア、南アフリカ、モーリシャス、モロッコ

・危険レベル2「不要不急の渡航は止めてください」： 上記危険レベル3以外の全ての国・地域

●海外渡航時には、必ず大学への届け出をおこなってください。

・ 野生動物との接触、市場への出入り、生肉や加熱調理が不十分な肉類の摂取はさけてください。家畜を触った後は手を洗ってください。

●インフルエンザ対策と同様に、手洗いや咳エチケットなどの感染対策を行ってください。

- ・ アルコール系手指消毒剤や、流水と石鹸による手洗いを頻回に行いましょう。特に外出した後や咳をした後、口や鼻、目などに触る前には手洗いを徹底しましょう。
- ・ 咳やくしゃみをする場合には口と鼻をティッシュや手、袖や上着の内側で覆いましょう。その後、ティッシュは捨て、流水と石鹸で手を洗いましょう。
- ・ 外出時や人と会うときはマスクをつけましょう。マスクは鼻と口を覆うようにつけましょう。
- ・ 熱や咳のある人との接触は避けましょう。

●新型コロナウイルスについての情報は日々変化します。最新の情報を確認しましょう。

・ 厚生労働省 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)